

「一戦一戦全力」光星ナイン 八戸で表敬訪問



八戸市庁を訪れ、甲子園での健闘を誓う八学光星ナイン

8月7日に兵庫県西宮市・阪神甲子園球場で開幕する第98回全国高校野球選手権に、本県代表として出場する八戸学院光星ナインが28日、東奥日報社八戸支社と八戸市庁などを訪れ、「一戦一戦全力で戦う」と意気込みを語った。橋場保人校長や仲井宗基監督、小坂貫志部長、同校甲子園出場協賛会の安井基悦会長と、奥村幸太主将ら県大会でベンチ入りした20選手の手計24人が訪問。市庁では出張中の小林真市長に代わり、田名部政一副市長が応じた。

田名部副市長は、どの試合も相手にリードを許すことなく、堂々たる勝ち上がりだった」と県大会を振り返り、「深紅の大優勝旗を持ち帰り、市民に見せてあげてほしい」と期待。仲井監督は「3季連続で準優勝した時のように、甲子園で光星高校、青森県、八戸の旋風を巻き起こしたい」と奥村主将は「青森県の全ての高校の思いを背負って戦う」と意欲を示した。

表敬後、市庁別館北側の入り口横に「目指せ全国制覇」と書かれた縦4・5段、横1・2段の垂れ幕が設置され、ナインは笑顔で見入っていた。これに先立ち、東奥日報社八戸支社では采田正之支社長と懇談した。主戦の櫻井一樹選手は「甲子園では(捕手の)奥村が要求したところに全力で投げ、恥のないピッチングをしたい」と闘志。采田支社長は「健闘を祈っている」と激励した。

一行は同日、八戸商工会議所や八戸観光コンベンション協会なども訪問した。ナインは8月1日、同校で壮行式に臨んだ後に八戸市を出発する予定。組み合わせ抽選会は4日に行われる。

(本田海輝)